

# JICAベトナム事務所 月報

第167号（2023年5-6月号）2023年6月30日発行

本月報に関するご意見、ご要望は  
vt\_oso\_rep@jica.go.jpまでお送り下さい。

Website（日・越・英）：  
<http://www.jica.go.jp/vietnam/vietnamese/index.html>

Facebook（越）：  
<https://www.facebook.com/jicavietnam/>

発行：JICAベトナム事務所広報班

# 目次

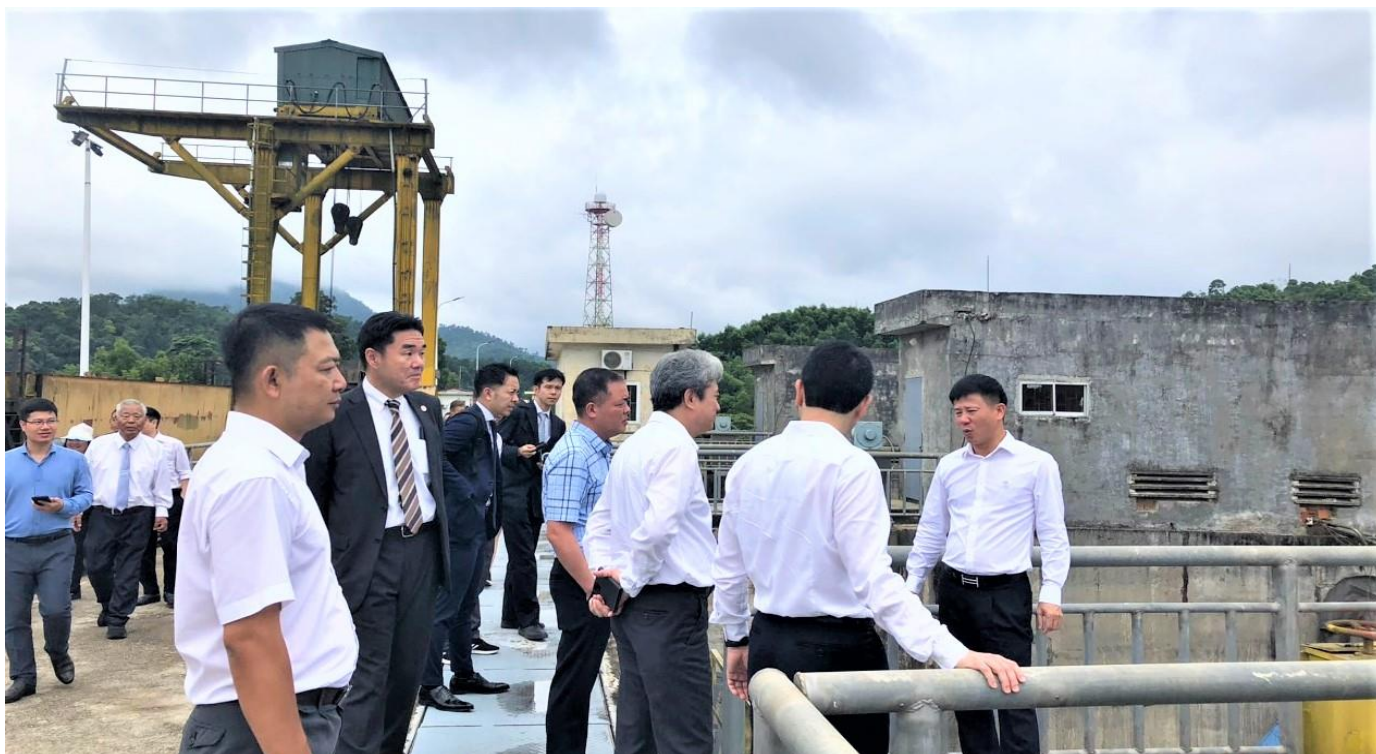
## プロジェクトの活動

- JICA はトゥア・ティエン・フエ省の貯水池運用と洪水管理の効率化を支援 3
- 無償資金協力事業「ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画」の竣工 4

## セミナー・ワークショップ

- 失った声を取り戻す取組 5
- 公共交通を中心とした都市開発モデル（TOD）と官民パートナーシップ（PPP）に関するワークショップ 6
- 飲酒運転ゼロセミナーの開催 7

# JICA はトゥア・ティエン・フエ省の貯水池運用と洪水管理の効率化を支援



ビン・ディエン・ダムにおけるレーダー雨量計設備視察の様子

国際協力機構 (JICA) ベトナム事務所は、農業農村開発省及びトゥア・ティエン・フエ省人民委員会と共同で、5月12日にトゥア・ティエン・フエ省で「水に関連する災害管理情報システムを用いた緊急のダムの運用及び効果的な洪水管理計画」プロジェクトの観測設備、ダム監視設備及び水防災情報システムの落成式を開催しました。

2017年から2023年にかけて、日本は本事業を通じて、フエ省のフォン川流域における防災に関連する先進的な設備の提供や統合的な災害予防情報管理システムの構築、適切な緊急時予測・警報対策の策定を行いました。

さらに、災害リスク管理を考慮した上で流域の3つの大規模ダム(ビン・ディエン・ダム、フォン・ディエン・ダム及びター・チャック・ダム)の運用・管理体制の強化に取り組んできました。

本事業は、ベトナムの年国家防災戦略及びフォン川流域の統合洪水管理計画の実施に役に立ち、ベトナム国の持続可能な社会経済発展に貢献することが期待されます。

# 無償資金協力事業「ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画」の竣工

2023年5月12日、JICA 無償資金協力事業による「ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画」の竣工式が、ハイフォン市で開催されました。

竣工式には、レー・クオック・ティエンハイフォン市人民評議会文化社会委員会委員長、渡邊滋在ベトナム日本国大使館次席公使、JICAベトナム事務所久保良友次長のほか、多くの関係者が列席しました。

本無償資金協力は、ハイフォン市アンズオン浄水場において、北九州市が特許を持つ上向流式生物接触ろ過設備 (Upward flow Bio Contact Filtration: U-BCF) の技術を用いた浄水施設を建設するもので、同市の給水の水質及び公衆衛生の改善につながることが期待されています。

関連リンク:

[ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画 | ODA 見える化サイト \(jica.go.jp\)](#)



テープカットの様子



## 失った声を取り戻す取組



研修会の様子

2023年4月10日から14日にかけて、公益社団法人銀鈴会は、喉頭摘出によって声を失った患者に対する発声訓練の研修会を、ホーチミン市腫瘍病院にて実施しました。この取組は、JICA 草の根技術協力事業「ベトナムの喉頭失声者に関する食道発声教室開設と発声訓練体制の確立」によって行われ、今回が2回目の現地研修です。

2022年12月に行われた1回目の現地研修では、自分の声を取り戻せる期待が高まった、新しい声を与えられ嬉しい等、参加者から大きな反響があり、今回の研修会においても、講師陣の指導により、自信と声を取り戻していく参加者の様子が印象的でした。

銀鈴会は、毎週のオンライン研修と次回現地研修等を通じ、参加者の発声能力向上に取組み、本プロジェクトにより発声訓練教室の定期的、継続的な開催体制の構築、ベトナム全土における食道発声法の普及を目指します。

関連リンク:

[https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/country/ku57pq0000124o9y-att/vie\\_20\\_s.pdf](https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/country/ku57pq0000124o9y-att/vie_20_s.pdf)

# 公共交通を中心とした都市開発モデル(TOD)と官民パートナーシップ(PPP)に関するワークショップ

2023年5月12日、ベトナムのホーチミン市にて、ホーチミン市都市鉄道管理局(MAUR)と JICA ベトナム事務所は、「公共交通を中心とした都市開発のモデル(TOD)と官民パートナーシップ(PPP)に関するワークショップ」を共催しました。

ワークショップは、ベトナムと日本の外交関係樹立50周年を祝う一連の活動の一環で、約100名の官民関係者が参加しました。

ベトナム側からは都市鉄道の整備状況及びPPP方式の実施プロセス等の紹介があったのに対し、日本側からは日本における TOD の事例を中心とした、実践的な知見の共有がありました。

JICA は今後もベトナム側と協力し、資金協力に限らず、ワークショップ等による知見の共有を通じて、交通インフラ整備に取り組んでまいります。



記念写真



## 飲酒運転ゼロセミナーの開催

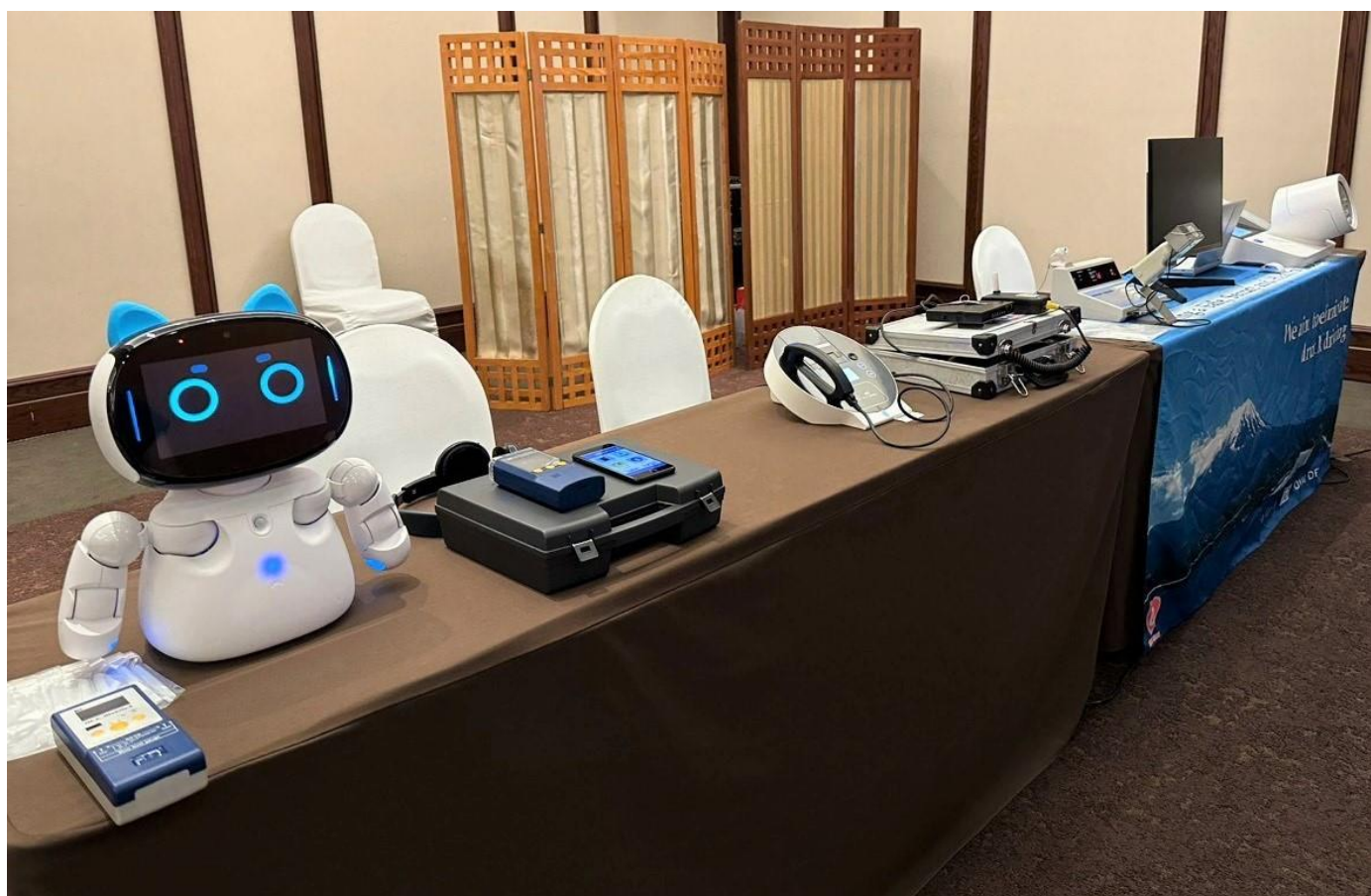
5月30日、JICAと東海電子はハノイにて運輸安全・事故防止オープンセミナー「ベトナム交通社会の飲酒運転ゼロを目指して」を開催しました。

本セミナーは「飲酒運転防止をメインとした事故防止支援(機器運用及び教育支援)案件化調査」の集大成として実施され、総勢60名以上のベトナム政府関係者や民間企業が参加しました。

セミナーでは、ベトナムにおける交通安全対策や日本の飲酒運転防止策を紹介後、ベトナムで実施したアルコール検知器を活用した実証結果の発表が行われ、

参加者からは「事業者が自主的にこうした飲酒運転防止対策をすることは、事業者のイメージアップにもつながる」等のコメントがあり、セミナーが飲酒運転を防止する具体的な方法について議論する機会となりました。

調査結果やセミナーをきっかけとして、飲酒運転を防止する具体策が普及し、今後ベトナムの飲酒運転による交通事故の撲滅につながることを期待しています。



アルコール検知器